

日本共産党

京都市会議員

北山 ただお



地域公共交通を守ろう

移動の自由を 確保する 政治を！

日頃のご支援に感謝申し上げます。

「自公過半数割れ」に追い込んだ力で、「市民が主人公」の政治をつくりましょう。



2つの無償化を訴える
キャラバン宣伝

11月市会本会議で代表質問

中小業者の 賃上げ支援を

大企業は空前の増益なのに、中小零細業者は倒産や廃業、店じまいに追い込まれています。実態調査を行い、西陣の織機メンテナンスの支援拡大、中小業者に対する京都市独自の賃上げ支援を求めました。

「ミータス山科・醍醐」 計画は住民合意で

京都市の狙いは高さ規制緩和や大規模開発です。まちづくりの基本は住んでいる方の声を聞き、合意を持って進めることです。私は ①住民懇談会を開いて住民の声をよく聞くこと ②外環状線の高さ規制緩和を撤回すること ③規制緩和や大規模開発



ではなく、歩道や側溝・河川等の改善、公園建設、防災対策など身近な環境改善こそ直ちに進めること ④休止しているラクト健康・文化館を市の責任で再開することを求めています。

バス値上げストップ 減便を止める



北山 ただお 議員
(共産党 山科区)

「突然バス路線が変わった」「減便になって不便」「運賃が上がって困る」などの悲鳴が聞こえてきます。市バス・民間バスとも危機に立たされていますが、その原因には地域公共交通に対する支援が弱い国や自治体の政治があります。私は、国の補助制度拡充と交通局への京都市の一般会計からの繰り入れ拡大を求めています。

バス待ち環境の向上を

バス停のベンチや上屋、接近表示機、点字ブロックの設置など市民サービス向上と小金塚地域循環バスへの支援や循環バスの拡大、運賃値上げストップなど「便利で住みよい山科」に全力を挙げています。



敬老乗車証 元の制度にもどせ



敬老乗車証は市民の宝です。利用者負担を3倍、交付を75歳からにし、総所得7百万円以上の人には不交付にした京都市に対して、「制度を元にもどして誰もが自由に使える敬老乗車証に」と求めています。